

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公開番号】特開 2006-186940 (P2006-186940A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-027
 【出願番号】特願 2004-381278 (P2004-381278)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 X

G 0 6 F 13/38 3 3 0 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 18 日 (2007.12.18)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

他の通信装置とデータを無線通信する無線通信部と、
前記無線通信部でのデータの無線通信を制御する通信制御部と、
データを格納するデータ格納部と、
前記通信制御部及び前記データ格納部を制御する制御部と、
前記制御部、前記データ格納部、及び前記通信制御部の其々に接続され、前記制御部からの制御コマンドを送送する第 1 のバスと、
前記他の通信装置からの無線接続要求に伴うデータの無線通信の際に、前記データ格納部と前記通信制御部との間でデータを伝送する、前記第 1 のバスとは異なる第 2 のバスとを備えることを特徴とする無線通信装置。

【請求項 2】

前記他の通信装置からの無線接続要求に伴い、前記データ格納部、前記通信制御部、及び前記無線通信部に電力を供給する電力制御部をさらに備えることを特徴とする請求項 1 記載の無線通信装置。

【請求項 3】

前記制御部が起動状態である場合に、前記第 1 のバスを介して前記通信制御部と前記データ格納部との間でデータを伝送し、
前記制御部が起動状態でない場合に、前記第 2 のバスを介して前記通信制御部と前記データ格納部との間でデータを伝送することを特徴とする請求項 2 記載の無線通信装置。

【請求項 4】

前記制御部からの指示に伴う前記他の通信装置とのデータの無線通信の際に、前記通信制御部と前記データ格納部との間でデータを伝送し、
前記他の通信装置からの無線接続要求に伴うデータの無線通信の際に、前記第 2 のバスを介して前記通信制御部と前記データ格納部との間でデータを伝送することを特徴とする請求項 2 記載の無線通信装置。

【請求項 5】

前記制御部を起動させずに、前記第 2 のバスを介して前記通信制御部と前記データ格納

部との間でデータを伝送することを特徴とする請求項 4 記載の無線通信装置。

【請求項 6】

前記他の通信装置からの要求に応じて、前記制御部を起動させずに前記データ格納部に格納されたデータの保存、修正、再生、移動、及び削除のうち少なくとも 1 つを行うことを特徴とする請求項 5 記載の無線通信装置。

【請求項 7】

前記通信制御部は、ワイヤレス U S B 方式により前記他の通信装置との無線通信を行うことを特徴とする請求項 6 記載の無線通信装置。

【請求項 8】

前記通信制御部は、U W B 方式により前記他の無線通信との無線通信を行うことを特徴とする請求項 7 記載の無線通信装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線通信装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、無線通信装置に関し、特に、デバイスが保有する所望の機能を電力消費を抑制しながら利用することのできる無線通信装置に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

従って、本発明の目的は、デバイスが保有する所望の機能を電力消費を抑制しながら利用することのできる無線通信装置を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は、上記目的を達成するため、他の通信装置とデータを無線通信する無線通信部と、前記無線通信部でのデータの無線通信を制御する通信制御部と、前記データを格納するデータ格納部と、前記通信制御部及び前記データ格納部を制御する制御部と、前記制御部、前記データ格納部、及び前記通信制御部の其々に接続され、前記制御部からの制御コマンドを伝送する第 1 のバスと、前記他の通信装置からの無線接続要求に伴うデータの無線通信の際に、前記データ格納部と前記通信制御部との間でデータを伝送する、前記第 1 のバスとは異なる第 2 のバスとを備えることを特徴とする無線通信装置を提供する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明によれば、デバイスが保有する所望の機能を電力消費を抑制しながら利用することができる。